

図書館新聞



*活動記録 *おすすめ本

Vol.24

活動記録

R2 学生図書委員会

〇6月・11月「選書」

学生図書委員による選書を毎年2回行っています。選書の本を並べる専用の棚が入って左側に設置されており、利用する学生や先生方に注目される人気の棚となっています。

普段は今井書店さんに現地集合し、直接本を手にとって選びます。しかし、今年はそれぞれの場所でインターネットを活用して選ぶなどして、それを図書館から注文する形をとりました。

選書した本には、各々で手書きのPOPを作り、掲示しています。

〇6～10月「100冊読書マラソン」

「100冊読書マラソン」とは、読書マラソン専用のノートに、読了日や満足度、読んだ本の感想などを書き、その数を競う企画です。上位者には、図書カードなどの賞品が用意されました。今回は参加者を学内メールで募集し、郵送でノートを送るなど、自宅にいながらにして新しいチャレンジをしてもらえるように工夫して進め、25名程度の学生が参加してくれました。



☆☆ 100冊読書マラソン 結果発表 ☆☆

1位 100冊 岩佐 由菜さん（総合文化学科1年）

2位 75冊 村上 翔太さん（地域文化学科2年）

3位 46冊 蔭山 実玲さん（地域文化学科3年）

〇8～10月「企画展示「本の貸出福袋」」

図書館で、「本の貸出福袋」という企画展示を行いました。貸出福袋とは、「手紙」、「アイスクリーム」、「映える」などの図書委員が提案したテーマに沿った本を集め、テーマごとに袋に入れます。袋にはテーマのみを書いておき、中身がわからないまま貸出をします。さらに、中に入っている本のテーマを予想してもらうクイズ形式の福袋も用意しました。



09/1 (火) 「LibraryNAVI ワークショップ」

LibraryNAVI (ライブラリーナビ) とは、手のひらサイズのじゃばら折りのリーフレットです。「Jcross」という図書館情報サイトで紹介されています。

そのサイトの運営の方と、他図書館のキャラクターも一緒に、オンラインでのワークショップに参加し、ライブラリーナビを作り方を教わりました。



松江キャンパス図書館のキャラクター・らぶちゃんの紹介をするライブラリーナビを作りました！



09/11 (金) 「大学図書館学生協働交流オンラインシンポジウム」

オンラインシンポジウムでは全国のような大学における図書館団体が画面を通して集まり、それぞれの活動報告やディスカッションをして交流を深めました。私たちも松江キャンパス学生図書委員会として、コロナ禍で行った活動や活動を通じた感想などを報告させていただきました。

各団体がコロナ禍という状況の中、臨機応変に工夫された取り組みを行っている事を知り、今後の活動における良いアイデアや刺激を沢山得ることが出来ました。今年はオンラインでの開催になってしまったものの、画面越しに多くの方が集まって同じ時間と情報を共有できた事はとても良かったのではないかと感じました。



〇11月「図書館総合展」

今年の図書館総合展はオンライン開催となりました。私たちは今年度の図書委員会の活動をまとめたポスターを作成し、本イベントのHPに掲載しました。テーマは「コロナ禍の活動事例」。見てくださる方の何かヒントになればと思います、活動をピックアップして紹介しました。私たちとしても、今年度の活動を考える良い機会になったと思います。



↑ 出展したポスター

〇9~11月「オンラインビブリオバトル学内戦」

毎年参加している全国大学ビブリオバトルが中止になってしまったため、学内戦を予選2回と決勝戦の計3回開催しました。観戦者の方にはオンラインで見ただけのように Teams を利用しました。

バトルの誰もが自分の好きな本のおすすめポイントを熱く語っていて、投票の際にはどの本を選ぶのか毎回とても悩みました。自分が今まで知らなかった本にも興味を持って、読んでみようと思えました。



☆☆ オンラインビブリオバトル学内戦チャンプ本 ☆☆

- 予選1回目チャンプ本『深夜高速バスに100回ぐらい乗ってわかったこと』
蔭山 実玲さん（地域文化学科3年）
- 予選2回目チャンプ本『出会い系サイトで70人と実際に会ってその人に合いそうな本をすすめまくった1年間のこと』
野津 成美さん（地域文化学科3年）
- 決勝戦チャンプ本『蜜蜂と遠雷』
野村 星歌さん（地域文化学科3年）

〇11/17 (火) 「図書館交流会」

商業高校の図書委員 13 名の方に大学図書館に来て頂き、図書館案内、書名しりとり、おすすめ本の紹介、おはなしレストランライブラリーの案内を行いました。

特に盛り上がったのは、書名しりとりです。3つのグループに分かれ、図書館にある図書のタイトルでしりとりをして、グループで1周したら終了。その時間を競うというゲームでした。一気に高校生と大学生の距離が縮まり、大学図書館の広さや図書の豊富さを体感してもらうことが出来ました。二回目の開催に向けて、新たな交流イベントも考えていきたいです。



↑ 図書館案内の様子



↑ おはなしレストランライブラリーでの様子

県大生 & 商業高校生 おすすめ本紹介リスト

県大生 (学生図書委員会)		松江商業高校生			
	『コントロールゲーム 金融部の推理小説』 郷里悟著 幻冬舎 2015年5月		『表参道高校合唱部 涙の数だけ強くなれるよ』 桜井剛脚本, 桑畑絹子著 学研プラス 2016年		『リバース』 渡かなえ著 講談社 2017年
	『モナミは世界を終わらせる?』 はやみかおる著 KADOKAWA 2011年9月		『ハリー・ポッターと賢者の石』 J・K・ローリング著 静山社 1999年		『ヴァイオレット・エヴァーガーデン 上』 晓佳奈著 京都アニメーション 2019年
	『隠だまりの彼女』 越谷オサム著 新潮社 2011年6月		『響—HIBIKI—』 豊田美加著 小学館 2018年		『狼と香辛料』 支倉凍砂著 角川書店 2006年
	『いとしいべもの』 森下典子著 文藝春秋 2014年5月		『もしもキミが。』 凜著 ゴマブックス 2007年		『アナと雪の女王 ディズニーアニメ小説版』 サラ・ネイサン, セラ・ローマン著 しぶやまさこ訳 福成社 2014年
	『星やどりの声』 朝井リョウ著 KADOKAWA 2014年6月		『ルーズヴェルト・ゲーム』 池井戸亮著 講談社 2012年		『脱上今日子の備忘録』 西尾維新著 講談社 2014年
	『NHK ニッポン戦後サブカルチャー史』 宮沢章夫編著 NHK出版 2014年10月		『ゴールデンランパー』 伊坂幸太郎著 新潮社 2007年		『岸辺露伴は叫ばない 短篇小説集』 北園ばらっど, 吉上亮, 宮本深礼, 椎野裕介 角木飛呂彦原作 集英社 2018年

図書委員おすすめ本

テーマ：甘い本

有川浩
『クジラの彼』



『クジラの彼』 有川浩著 角川書店 2007年

有川浩による短編小説集。自衛官たちが繰り広げる、活字によるベタ甘ラブロマンスが詰まった、なかなか糖度高めな甘い本です。初々しく、純粹で、どこまでも一途な想いで満たされていて、1つの話を読み終わる度に甘さで胸がいっぱいになるような素敵なストーリーが詰まっています。漫画でもアニメでもドラマでも映画でも表現不可能な活字特有の胸キュンを、皆さんもぜひ体験してみてください。

(植木香帆・地域文化学科2年)

『80GIRLY MAGAZINE AD COLLECTION (80年代ガールー雑誌広告コレクション)』

ゆかしなもん著 グラフィック社 2018年

この本は、80年代の少女向け雑誌に載っていた広告を集めた本です。サンリオキャラクターの文房具やグリコ・Meijiのお菓子、アニメコラボ商品の広告が収録されています。レトロな広告と筆者の熱意ある解説が相まって、80年代の「甘くてかわいい空気♡」を堪能できます。私が一番気に入った広告は「ヘッドストロング」というキャラクターの家具の広告です(p84 記載)。

本の後ろには、'80カルチャー年表が記載されていて当時流行した出来事や事件を知ることができます。

また、カラーコピーなので目で楽しめる本になっています！

(万代結・地域文化学科2年)



『麦本三步の好きなもの』

住野よる著 幻冬舎 2019年



みなさんはお気に入りのお菓子のメーカーはありますか？私はロッテや不二家が好きです。私の紹介するこの本は、ブルボンが好きな女の子が主人公です。図書館勤務の20代女子（おっちょこちょい？）の何気ない日常が描かれています。何か特別なことは起きなくてもほっこりとした日々の幸せを改めて感じることができる本です。3時のおやつ時間に、甘いお菓子とコーヒーのお供にいかがでしょうか？

（伊藤夢希・地域文化学科2年）

『西洋菓子店プティ・フル』

千早茜著 文春文庫 2019年

舞台は、下町。フランスで修業したパティシエールの亜樹は、祖父が営む西洋菓子店「プティ・フル」で働くこととなります。友達、恋人、仕事仲間、そしてお店の常連さん…店を訪れる人々が抱える様々な事情と、それぞれの変化を描いた連作短編集です。

思いのこもった、魅力的であま〜いお菓子の数々と、交錯するほろ苦い人生。作中に登場するお菓子を実際に味わいながら、“おいしさ”の先にある魅力を体感してみてください。

（福田倫世・地域文化学科1年）



『世界一美しい透明スイーツレシピ』

tomei/透明愛好家著 KADOKAWA 2020年

シンプルなのに美味しく美しい、そんな透明スイーツのレシピ集です。

透明スイーツを作るにおいて必要なゼラチンや寒天の溶かし方という基本的なものや、写真付きで作り方の手順がわかりやすく紹介されており、スイーツ作り初心者でも、材料が揃えば手軽に作ることができます。また、『世界一美しい』と銘打っているだけあり、使われている写真は美しいを乗り越えて非常に幻想的で、どれも目を奪われてしまうものばかり。写真集としての機能も果たしていると言っても過言ではないかと思えます。

私の一押しは、Twitter・Instagramでも紹介されていた「夜空の水信玄餅」。その名の通り、夜空が中に封じ込められたようなスイーツとなっています。上には星をイメージした銀箔が散らされており、澄んだ青色に非常によく映えます。

想像以上に手軽に作れる透明スイーツ、皆さん一度作ってみてはいかがでしょうか？

(田中野乃香・地域文化学科2年)



図書委員のおすすめ本、いかがでしたか？

甘い恋の本、甘いお菓子の本、甘くてかわいいデザインまで、

色々な「あまい」を気分に合わせて楽しんでみてください！